



やはばこども園で行われた昼食会

町内の保育園、こども園で1月14日、小正月行事の鏡開きが行われました。やはばこども園では、高橋町長、JAいわて中央もち米生産部会矢巾支部の高橋信榮支部長ら関係者との食事が行われ、年長児15人が、餅が使われた昼食を楽しみました。食事会前には、園児らが園内で取り組んだ小豆の栽培について発表。開いた餅は、その小豆を使った餡子^{あんこ}の他、きな粉や雑煮などで振る舞われました。

齊藤悠希君（6）は「お正月はかるたをしたり、おばあちゃんの家に行って、こまを回したりして遊びました。きょうのお餅は、きな粉がおいしかったです」と話していました。

1年の健康を願って やはばこども園で鏡開き



昨年末、JA いわて中央から町へ贈られた巨大おそなえ餅



ステージ上で躍動する
南矢幅さんさ踊保存会

**各地域の伝統文化が集結
町郷土芸能大会**

町郷土芸能大会が1月19日、田園ホールで行われました。町内の各種芸能保存会を中心に7団体が出演。約700人が来場し、地元にも古くから伝わる神楽や獅子舞、民謡を楽しみました。友好都市の普代村から、鶴島神楽保存会も出演し、会場は大いに盛り上がりました。



谷村社長から目録を
受け取る高橋町長

**地域福祉の向上願い
北日本採石興業から寄付**

北日本採石興業（谷村幸一社長）は12月20日、町社会福祉協議会（藤原義一会長）へ寄付を贈りました。谷村社長、藤原正吾専務が役場を訪れ、高橋町長へ目録を手渡しました。

谷村社長は今回の寄付について「広く、町の地域福祉の向上に役立ててください」と話しました。



統監の高橋町長による観閲



一糸乱れぬ行進を披露する町消防団

火消しの心意気表す 町消防団出初め式

町消防団出初め式は1月5日、矢巾ショッピングセンター内で行われました。消防団員約250人が参加。行進などを披露し、新年の活動へ意気込みを示しました。

消防団は午前10時20分、県道矢巾停車場線上をやはばくから式典会場に向け、行進を開始。寒空の下、沿道では多くの町民が足を止め、一点を見つめて歩を進める団員の姿に、熱いまなざしを向けました。

式典では、統監の高橋町長や来賓による観閲、11月に行われた各部の特別点検の講評などを実施。特別点検では、屯所や用具の管理状況などを審査。2部、10部、11部が最優良部となり、2部が表彰状を代表受領しました。

高橋町長は訓示で「災害に對する備えに万全を期してほしい」と述べ、消防団の活動に期待しました。



フォーラム内で「認知症とともに生きる希望宣言」をする町キャラバンメイト連絡会

認知症に優しい地域へ 町内でフォーラム

「認知症にやさしい地域づくりフォーラム」が12月19日、田園ホールで行われました。各自治会などから約200人が来場。基調講演や地域での取り組み発表を通して、理想の地域を創り上げるため、自分たちが今、取り組むべきことを考えました。



振袖に身を包み
式に臨む新成人ら

町成人式、華やかに 258人が晴姿

町成人式は1月12日、田園ホールで行われ、対象者330人中258人が出席しました。出席者らは、新成人としての自覚を胸に、式へ臨みました。

式典で、新成人を代表し西徳田の松前哲さんは「地域活性化に若者の力を生かし、社会に貢献したい」と決意を述べました。